



旧和井田家住宅は、もともとは花又^{はなまた}
(明治22年に花畑^{はなはた}となる)にあった古民家^{あんえい}
で、安永2年(1773)に生まれた和井田家
中興の祖である半兵衛が江戸時代後期に
建てたものといわれています。

和井田家住宅の特徴は、軒下に煉瓦が
敷きつめられ、土間には煉瓦造りのかまど
があることです。足立区は煉瓦産業が盛ん
な地域で、明治・大正期の当主であった
健次郎は、花畑にあった帝国煉瓦という
煉瓦会社の役員も務めた煉瓦づくりの技術
者でした。和井田家住宅は、こうした足立区の
近代産業の姿をも現在に伝えているのです。

昭和58年から都市農業公園への移築
復元工事が始まり、翌年から一般公開され
ています。



屋内のようす



かまどのようす

きゆうわいだけじゅうたく
旧和井田家住宅
足立区指定有形民俗文化財